



BOOMERANG

ボーイスカウト川崎地区賛助会は1984年に川崎地区協議会の財政支援を目的として、川崎地区の有志により設立されました。この会報「ブーメラン」は当会の歴史と活動内容を広く皆様へご紹介する目的で発行しているものです。また、賛助会の運営趣旨にご賛同いただける方へのご入会促進メッセージでもあります。この機会に是非ご入会を検討いただければ幸いです。

ブーメラン発行 10 回記念 この5年間の賛助事業成果・賛助金

本会の機関紙「ブーメラン」を年に2回発行し会員の皆様に賛助活動のご紹介をしております。おかげさまでこのブーメランは今回で10回目の発刊を迎えることが出来ました。今回はブーメラン発刊から今日までの5年間における賛助事業の成果をまとめてみました。

■機関誌ブーメラン発行5周年記念にあたり

日本ボーイスカウト川崎地区賛助会

会長 木村 耕三



日本ボーイスカウト川崎地区賛助会にご理解とご協力を賜り衷心より御礼申し上げます。機関誌ブーメラン発行5周年あたり、ご挨拶申し上げます。

当会は昭和59年（1984年）に発足しました。其のころは高度成長の真っただ中であり、その後昭和61年頃からバブル期～平成景気と続き順調に会員数も増えていた良き時代でした。振り返ってみますと、バブル崩壊後の平成3年ごろから会員減少の兆候が見られる様になったと思われます。この間、会員の皆様との接点は「年次総会資料」が中心で、総会後の「懇親会」や「ニューイヤーパーティ」などでは親しく面談もさせて頂く機会が御座いました。

平成27年（2015年）の理事会において会員の皆様と繋ぐ何らかの手段が必要な時期に来ているとの議論が百出し、「機関誌」発行の必要性が論じられました。その結果、会員の皆様からの賛助金の使途について、単に使用項目ではなく、活動の内容をビジュアルに、またスカウト達の楽しそうな報告を詳細にご報告する義務があると結論に至りました。

2016年4月に第1回が発行され、機関誌名は「ブーメラン」と命名されました。お陰様でこのブーメランの発行が今回で10回目を迎えることができ、これは会員の皆様のご支援の賜物と篤く御礼申し上げます。

また多くの人に賛助会のプレゼンスを示せるように、また賛助会の活動をご理解いただけるようにHPも立ち上げました。当会は今後も明日を担う青少年の活動に資するよう、今川崎地区のスカウトのために資金援助に務めてまいります。

会員の皆様には今後ともご支援ご協力を賜ります様衷心よりお願い申し上げます。

■過去5年間の賛助事業と成果

機関紙ブーメランの創刊以来、過去5年間における川崎地区協議会への資金助成は皆様のご支援により下表のように使われております

賛助会補助実績一覧(H27～H31年度)

賛助会補助実績	H27年度 (2015年)	H28年度 (2016年)	H29年度 (2017年)	H30年度 (2018年)	H31(R1)年度 (2019年)	
地区ラリー(BP祭)	150,000	150,000	130,000	130,000	100,000	
ポルチモア派遣交流(※1)	250,000	150,000	250,000	200,000	250,000	
ゴールデンアックス トレーニングコース(※2)	90,000		90,000		90,000	
ビーバーまつり	40,000	40,000	30,000	30,000	30,000	
BS講習会	30,000	30,000	50,000	50,000	30,000	
野外活動講習会			20,000	20,000	20,000	
白梅隊		50,000	50,000	50,000	40,000	
組織拡張勉強会(※3)		70,000	50,000	⇒	⇒	
スカウターズ・フォーラム		70,000	30,000	20,000	20,000	
プログラム研究会				20,000	20,000	総計
合計	¥560,000	¥560,000	¥700,000	¥520,000	¥600,000	¥2,940,000

(※1) ポルチモア派遣交流:補助金が、派遣時には多く、受入時には少なくなっている。

(※2) ゴールデンアックス・トレーニング・コース:隔年実施の為補助実績も隔年となっている。

(※3) 組織拡張勉強会:「⇒」は、H29年度補助金(50,000円)の残金が繰り越されていることを意味する。

今後も会員皆様からのご支援を川崎地区協議会の活動へ賛助させていただき所存です。
今後ともご支援のほどお願い申し上げます。

【活動報告】

今年度は新型コロナウイルスによる未曾有の災害がもたらされており、いまだその収束の兆しが見えません。長期間に亘る外出自粛規制などで活動が制限されてまいりました。その中でも工夫を重ねての活動も報告されておりますので、賛助事業の成果としてその一端をご紹介します。

■GATC 川崎 26 期終了

スカウト支援委員会 井上 景

GATC(ゴールデン アックス トレーニングコース)
川崎 26 期の解隊式が 9 月 6 日に国際交流センター



で行われました。昨年、8月31日に結隊し、20名のベンチャースカウトたちが活動を開始しましたが、昨年の台風19号で前半のプログラムが影響を受けました。それでも、チームビルドを目的とした研修「プロジェクトアドベンチャー」、夜から朝にかけて行うハイキング「オーバーナイトハイキング(小田原→沼津)」、大型の橋づくり「パイオニアリング」など、さまざまなプログラムを実施。しかし、2月ごろから新型コロナウイルス感染拡大で活動自粛に。本来、4～5月ごろにまとめのプログラムを経て解隊式という計画でしたが、8月まで活動が

中止となり、数か月遅れの解隊式となりました。大型台風、コロナほか、これまで経験したことのない、多くの困難に見舞われた GATC 川崎第 26 期。完全な形でのプログラムは実現できませんでしたが、スカウトたちに経験と仲間づくりの場を提供することができたのではないのでしょうか。

中止となり、数か月遅れの解隊式となりました。大型台風、コロナほか、これまで経験したことのない、多くの困難に見舞われた GATC 川崎第 26 期。完全な形でのプログラムは実現できませんでしたが、スカウトたちに経験と仲間づくりの場を提供することができたのではないのでしょうか。



■ボーイスカウト講習会を終えて ～コロナ禍における指導者研修～

地区コミッショナー 北村 岳人

10月25日、川崎市青少年の家で、第1080回ボーイスカウト講習会を開催しました。
今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、

スカウト活動に加え、指導者訓練も8月までは中止となりましたが、緊急事態宣言の解除後、日本連盟や神奈川連盟からガイドラインが示され、当地区の指導者訓練については、日本連盟や神奈川連盟の方針に基づき、感染防止対策を行いながら、9月末の安全研修会から再開しました。

さて、当日は晴天に恵まれる絶好のコンディションで、スカウト運動の概要とスカウト教育の原理と基本的な方法について、「PR、実践、活動の意義と仕組み、激励」をキーワードに、体験を中心に学んでいただきました。



5個団、22名の参加者が、“ボーイスカウトのファン”として、今後、団や隊活動での活躍されることを期待しています。

今こそ、ピンチ（＝スカウト数の減少）をチャンス（＝スカウトの加盟増加と指導者の育成）に変え、一人でも多くの子供達に、スカウト活動を提供していくことで、この世の中が平和で暮らしやすくなるものと信じ、これからも指導者としての務めを果たしてまいりたいと考えています。

最後になりますが、引続き、活動を支える指導者訓練への御理解と御支援をよろしくお願いいたします。

■令和2年度賛助事業決まる！

ボーイスカウト活動に対する賛助金について、本賛助会の目的は下記の通りです。

- (1) 川崎市内にけるボーイスカウト運動への賛助
- (2) 指導者養成の協力賛助
- (3) ボーイスカウト運動の普及宣伝

この趣旨にしたがって令和2年度のボーイスカウト

① 地区ラリー	130,000 円
② 第29回ボルチモア交流派遣	250,000 円
③ ゴールデンアックス	40,000 円
④ ビーバーまつり	30,000 円
⑤ ボーイスカウト講習会	20,000 円
⑥ ボーイスカウト野外活動講習会	50,000 円
⑦ 白梅隊	30,000 円
⑧ スカウターズ・フォーラム	- 円
⑨ プログラム研究会	- 円
合計	550,000 円

川崎地区に対する賛助金が以下のとおり総会にて下記の通り承認されました。

このようにボーイスカウト活動に賛助できるのも会員の皆様のご理解とご協力の賜物と衷心より厚く御礼申し上げます。

【特別寄稿】 第13回世界ジャンボリー

賛助会理事 仁藤 祥仁

私は昭和46年（1971年）8月2日から10日まで静岡県霊峰富士山の裾野の朝霧高原で参加国88か国、参加人数約24,000名を迎えFOR UNDERSTANDING（相互理解）のテーマのもとに開催された第13回世界ジャンボリーに参加しました。日本で開催されたので運良く参加することができました。今から50年も前、大昔のことです。キャンプサイトの名称は日本の年号で区枠され、私の参加隊名は神奈川飛鳥11隊でした。開催中には当時の皇太子殿下、美智子妃殿下（現在の上皇様、上皇后様）、アメリカからアポロ11号の船長で、人類で初めて月面に立ったニール・アームストロング氏も来場しました。



開会式は歌手の藤山一郎氏が歌うテーマソング「明るい道を」の大合唱で大いに盛り上がりました。

♪明るい道をパンパンパン（拍手）開こう開こうパンパンパン（拍手）ジャンボリー ジャンボリー♪
開会式後の最初のワイドゲームは、世界の仲間と文字合わせパズルゲームで一人一人に一字が与えられて、それを首から下げて仲間を集め課題の文を作るゲームでした。

確か課題は そなえよつねに？ せかいのなかま？ 両方とも違いました？ どっちでした？
今まで参加したキャンプとの一番の違いは食事の献立でした。オートミールて何？、鳥のもも焼き、パンとクラッカー、牛乳とコーンフレーク、みそ汁はないの？など今でもなんとなく覚えています。

開催中には台風19号の通過により会場は暴風雨に襲われ、テントサイトは浸水、倒壊するなど大変な状況で他のサイトでは避難した隊もありましたが、わが隊は避難せずに、火の見張りをしながらサイトでみんなで凌いだことは、まさに‘そなえよつねに’

‘の実践でした。(日本連盟の記録映像がそのように述べています。)



雨上がりの夜の月がとても綺麗だった事を今でも覚えています。

また、参加の外国スカウトたちのサイトへの相互訪問、チーフリング、記念バッジ等の交換などの交流、日曜日には宗教行事が行われたこともとても印象に残っています。

そして閉会式前夜の富士の裾野での大営火はとても壮大で、そのスケールの大きさに感動し気持ちが高揚したまま、みんなで大きな声で歌いながら行進してサイトへ帰りました。

♪行こうぜ行こうぜ川崎スカウト ワンツウーワンツウー スリーフォー スリーフォー ワンツウー スリーフォー ワンツウー スリーフォー♪
あれからあつという間に50年ああの時のスカウト達のご健康と益々のご活躍をお祈りいたします。

■理事会報告

第199回 2020年6月14日 WEB 会議

- (1) 総会報告
書面会議にて総会資料は郵送配布
- (2) ボーイスカウト川崎地区活動報告
- (3) ブーメラン誌10号発刊について
- (4) 賛助金関連

第200回 2020年9月13日

てくのかわさき(高津区溝口)第一研修室

- (1) ボーイスカウト川崎地区活動関連
- (2) ボーイスカウト川崎地区委員会報告
- (3) ブーメラン誌10号発刊について
- (4) 賛助金関連

■賛助会員の分布(2020年11月現在)

- ・ 準会員 11名
- ・ 個人会員 95名(議員含む)
- ・ 団体会員 26団体(法人12含む)

■会員募集

賛助会は随時会員を募集しております。青少年育成にご理解とご支援をいただける方の参加を歓迎いたします。

◆賛助会員の種類と会費

- ・ 準育成会員(年会費) 一口 2,000円
 - ・ 個人会員(年会費) 一口 5,000円
 - ・ 団体会員(年会費) 一口 10,000円
- 下記へご連絡ください。

■お問い合わせ：賛助会事務局：鈴木

E-mail : sanjokai@scout-kawasaki.org

ホームページ：

<http://www.scout-kawasaki.org/sanjokai/index.html>

●編集後記

未曾有のコロナ禍で生活環境が変わり、スカウティングも前代未聞の方法を模索している。Scouting Never Stops! をキーワードにコロナに負けぬ楽しい活動をしたいものです。(H)

【法人会員のご紹介】

順不同・敬称略

富士高圧ガス工業株式会社 神奈川県川崎市鋼管通 代表 谷屋 利隆	株式会社 テタケ 神奈川県川崎市中原区新城 代表 出竹 惇文	株式会社 沼崎商会 東京都世田谷区尾山台 代表 沼崎 匡一
日本エード株式会社 東京都中央区日本橋本石町 代表 小清水 克臣	株式会社 上作商店 神奈川県川崎市高津区向ヶ丘 代表 手塚 功	株式会社 清水製作所 山梨県北杜市長坂町 代表 清水 鐵朗
ドリームキッズさぎぬまナーサリー 神奈川県川崎市宮前区鷺沼 代表 富山 純江	岡田信司税理士事務所 埼玉県鶴ヶ島市 代表 岡田 信司	株式会社 杉山産業 静岡県焼津市坂本 代表 杉山 晴夫
特定非営利法人 子育てを応援する会 神奈川県川崎市高津区末長 代表 飯野 道子	コパロン株式会社 宮城県仙台市宮城野区扇町 代表 長澤 清	呉エンジニアリング有限公司 神奈川県川崎市中原区中丸子 代表 野沢 義幸
株式会社 保育所ひまわり 神奈川県川崎市幸区小倉 代表 耳田 英恵		

